

# 業務そくほう

日本貨物鉄道産業労働組合

2018.2.16

No.576

## 2018年、春闘要求提出

### 定期昇給4号俸実施のうえ、月例賃金総額6000円以上引き上げ、そのうち3000円以上のベースアップを要求！

2月13日、2018年春闘要求書提出し、2月15日、趣旨説明を行いました。以下、報告します。

(賃金引き上げ要求)

- 1、2018年4月1日以降の賃金については、定期昇給4号俸実施のうえ、月例賃金総額6000円以上引き上げ、そのうち3000円以上のベースアップをすること。
- 2、期末手当年間4,5ヶ月以上（夏2,1ヶ月以上・年末は夏の差額）支給すること。
- 3、55歳以上の組合員に対する「賃金ダウン」の改善をはかること。
- 4、契約者、臨時社員の賃金についても、社員に準じて引き上げること。
- 5、嘱託社員基本給、一律1万円上積みすること。
- 6、パート社員の賃金改善時間給額40円以上の引き上げ、時間給額1000円に達していない場合は改善をはかること。

---

(諸要求について)

- 1、B単価（超勤）を130/100に引き上げを求めます。
- 2、D単価（夜勤）を35/100に引き上げを求めます。
- 3、自動車運転手当、大型車日額600円、普通自動車日額500円を求めます。
- 4、都市手当の級地補償を1年復活することを求めます。
- 5、扶養手当の増額を求めます。
- 6、寒冷地手当の一律増額5000円を求めます。
- 7、第2基本給の廃止を求めます。
- 8、採用時の年休付与日数15日以上を求めます。
- 9、保存休暇の使用条件拡充を求めます。（親、子供の看護等）
- 10、グループ会社社員の賃金改善をはかるため、業務委託料等の増額を求めます。
- 11、各ロジ会社社員の正社員化を求めます。
- 12、新幹線通勤ルールを再検討し、改善をはかるよう求めます。
- 13、インフルエンザ予防接種については、配偶者・子供も含め全額負担を求めます。
- 14、会社の責務として、社員の健康維持のため、人間ドックは社員全員が受診できるよう求めます。
- 15、年間休日増を求めます。
- 16、空き社宅にグループ会社社員が入居できるよう求めます。（寮代用を含む）
- 17、出向社員の労働条件の改善をはかることを求めます（特休の増等）
- 18、業務中、眼鏡等の私物が破損した場合の措置として、私有物損舞金制度の新設を求めます。
- 19、祝日手当支給日のさらなる拡充を求めます。
- 20、検修技術手当の増額を求めます。
- 21、技能手当「技術関係社員」支給額増額を求めます。
- 22、事務職に従事している者に対しての手当新設を求めます。
- 23、「くるみん認定」「えるぼし認定」の取得を求めます

---

## 趣旨説明

- ・会社の業績は上がっている。社員の努力に報いるため、18年間預けているベアについて実施すること。
- ・55歳以上の賃金ダウンの改善を図ること。仕事量・内容が全く変わらないのに、55歳になったとたん、手取り額が大幅に減少し、モチベーションが一気に下がる。今後、労働者確保が困難になり、年配労働者雇用維持が絶対条件となる。早期に意欲が生まれる労働条件を確立する必要がある。
- ・若年退職者も多い。原因の一つに低賃金がある。希望と夢を持った若者が、会社に対し失望しないよう、改善を図られたい。
- ・2年連続、鉄道事業黒字に向け、社員は安全安定輸送に努めている。社員が頑張れるのは、家族のフォローも多大にあると会社は認識して頂きたい。社員やその家族のことを何も考えず、利益のことしか考えていない会社は、社員から見放され、いずれ世間からも見放される。
- ・各ロジ会社は、慢性的な要員不足に陥っている。募集を常にかけているが、採用しても「労働と賃金が見合っていない」と、すぐに辞めていってしまう。フォークリフトマンがコンテナを貨車に載せて列車が発車できる。現在、超勤対応等で要員不足を対応しているが、いずれオーバーワークで限界に達する。業務委託料を上げ、労働条件改善を図っていただきたい。要員不足で列車に遅れが出てからの対応では遅すぎる。
- ・今後、労働者不足が深刻化する。優秀な社員を採用するためにも、まずはJR貨物会社のイメージアップを図り、世間にアピールする必要がある。JR貨物の賃金は他のJRにくらべれば下位に位置する。まずは労働条件の最たる賃金を改善しなければ、見向きもされない。トヨタでさえ、優秀な人材確保のため労働条件改善を図っている。
- ・以上を踏まえ、誠意ある回答を求める。

会社・貴組合の主張は承った。会社の状況をみて判断し、真摯に議論していきたい。

以 上